

中国 5 県休眠預金等活用事業 2020

公 募 結 果

■ 概要

選考結果	採択
団体名	特定非営利活動法人はぐ
代表者名	大野 みどり
申請事業名 主題	早期療育につなげるための発達検査
申請事業名 副題	
エリア／テーマ	山口県 1) 生活または成長に困難を抱える子どもや若者の、居場所づくりや就学就労の支援につながる環境づくり
解決すべき社会課題	<p>【領域】</p> <p>1) 子ども及び若者の支援に係わる活動</p> <p>【分野】</p> <p>① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援</p> <p>② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援</p> <p>③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援</p>
申請事業の概要	<p>私どもの法人が運営する事業所では、児童発達支援、放課後等児童デイサービス、相談支援事業所を多機能型で運営している。子どもの様子をアセスメントする際に、知能検査や発達検査の結果は必要な情報となる。しかしながら、当事業所がある岩国市では、子どもの検査を行なう公的機関は岩国市療育センターと岩国医療センターのみで、常勤の心理職はおらず、検査予約は少なくとも半年後、結果はその1カ月後と、必要とする時に検査を受けられない実態がある。また、就学選択の際にも、検査は必須であるものの、検査までかなりの時間を要することで、希望した就学先につながるができないケースも少なくない。検査先に選択肢がなく、さらには必要な時に受けることができない現状は、子ども達の早期療育につながりにくいように思われる。</p> <p>そこで、当事業所では、保護者や周辺の人が検査を必要とした時に、心理職による迅速な検査が実施できる支援を行ないたいと考えて活動している。そのための施設面を整えるために、この度の補助金を申請するに至った。</p>
事業実施地域	山口県岩国市及びその近郊(範囲は限定せず)
申請事業期間	2021年4月～2024年1月
申請助成額	7,864,698 円 【内訳】直接事業費 7,364,000 円、管理的経費 500,698 円

■ 審査コメント

- ✓ 検査できる地域の体制が不十分であるという課題意識はよくわかる
- ✓ 既存の公的機関・リソースでは地域の検査・診察体制に問題があり、そこを民間団体がサポートするという事業の姿勢は理解できる
- ✓ 施設を整備したのちに実施する検査対象者や実施回数が、そう多くないように見える。
「検査を長く待ち望む人たちが多い」という課題の解決にどこまでつながるのか懸念が残る
- ✓ たとえば、「検査を待機している保護者からの相談対応や、保護者が集っての情報交換の場づくり」など、待機時間を有効化できるような活動をお願いできれば望ましい
- ✓ 検査や診断をめぐる仕組みがよくわからないが、既存の公的機関による検査と、民間である申請団体による審査とを比べて、診断につなげる順番は官民で変わりはないと考えてよいか？
(要は、「検査・診察待ちで困る人たちの減少」という事態に臨めるかどうか気がなる)
- ✓ 本事業をめぐる人材育成（臨床心理士の育成など）は難しいかもしれないが、他の機関との連携などを模索して地域における検査・診断体制の充実を図るための取り組みも検討してほしい